



1996～1997年度RIテーマ

築け未来を
行動力と先見の眼で

青い空 緑の山と風
黄色のうねりは
人類の理想 文化を表わす。
それらが混然一体調和して
ロータリーの理想に向って
昂って行く姿を示している。



国際ロータリー第2750地区

東京多摩グリーンロータリー・クラブ

No. 303 7-27

1997. 2. 5 発行

Weekly Report

より深められる機会となることとを考えます。

ロータリーの心は、出会いと、友情の絆を大切にすることにあると考えます。大いに親睦を深められ、ロータリー活動の源としてください。なお本日は、ガバナーのお話をいただく予定でありますので、その節はご静聴願います。

また、本日は、新入会員の入会式を予定しております。本年度7人目 女性会員として当クラブ5人目 萩生田直前会長の推薦によります。後程入会式を致します。

クラブの標語 "奉仕の実践"

...行動する多摩グリーン...

第303回例会報告 (1/29)

(1996年～1997年度第28回例会)

[ポールハリス没後50周年記念例会]

司会 SAA委員会 横倉 謙

◎点鐘 会長 遠藤 二郎

◎ロータリーソング「四つのテスト」
ソングリーダー 吉沢 洋景

◎お客様紹介 会長 遠藤 二郎

中村 健二郎様 (ガバナー)

岩佐 敬山様 (地区副幹事)

山本 英司様 (分区代理)

横田 定利様 (分区幹事)

◎会務報告 会長 遠藤 二郎

本日は、クラブ協議会にご出席お疲れ様でした。また、中村ガバナー始め、ご来賓方々には、貴重なご意見御指導を賜り厚く御礼を申し上げます。

今日の例会は、先程のクラブ協議会の議題の一つに有りましたとおり、月の最終例会に当たりますので、立食形式と致しました。普段の例会形式とは違い、会員間の交流を

理事会開催のお知らせ

例会終了後、第12回の理事会を事務局において開催致します。主なる議題は本日のクラブ協議会を終えて、今後のクラブ活動の検討、次年度地区委員推薦の件、次年度役員補填に関して、障害者ふれあいスポーツ大会協賛依頼の件

◎幹事報告

幹事 須藤 起雄

- 1)今年度の会費納入の期限まで残り少なくなってきました。これから納入予定されている方は早めにお願ひ致します。
- 2)昨日、高輪プリンスホテルで開催された新会員R情報セミナーに当クラブより10名出席しました。
- 3)4年前にモンゴル大使館を経て学用品を送った事、覚えていると思います。今年度は世界社会奉仕委員会の取りまとめでカレンダーを送りました。詳細については委員会より後ほど報告があると思います。
- 4)2月4日開催東京世田谷中央RCチャータナイトに、会長、幹事が出席しますがまだチャーターナイト未経験者が多数いると思います。当日登録も可能ですので出席を希望される方は直接私の方へお申し出下さい。
- 5)第2750地区大会が4月12日「東京国際フォーラム」にて開催されます。その大会に「ロータリー活動の写真」を展示することになりました。各クラブに少なくとも一つの「クラブ活動の記録」要請がきています。出展する写真がありましたら事務局までお申し出下さい。内容につ

東京多摩グリーンロータリー・クラブ

会長：遠藤 二郎 副委員長：田畑 博
幹事：須藤 起雄 委員：大松誠二・伊藤英也・村上久
会報委員長：小坂 一郎 杉野志保子・山崎光一

例会場 京王プラザホテル多摩 (たまつばき)

事務局：東京都多摩市落合1-43
京王プラザホテル多摩 561号
TEL 0423-72-6463/FAX 0423-72-6491

例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30

きましてはお手元に配布してあります。

◎次年度会長報告 会長エレクト 吉沢 洋景
会計担当の役員を補填、その旨理事会に報告。定款により例会の休会を決定

委員会報告

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 長谷川 明宏
赤尾 恭雄

中村ガバナーようこそお越し下さいました。

足立 潤三郎

中村ガバナーようこそお越し下さいました。

伊藤 英也

中村ガバナーようこそお越し下さいました。

横倉 舜三

中村ガバナーようこそお越し下さいました。

遠藤 立一

中村ガバナーようこそお越し下さいました。

大熊 将夫

中村ガバナーようこそお越し下さいました。

海野 栄一

中村ガバナーようこそお越し下さいました。

萩生田 茂夫

中村ガバナーようこそお越し下さいました。

村上 久

中村ガバナーをお迎えして。小形さん入会おめでとうございます。

須藤 起雄

中村ガバナーをお迎えして。小形さん入会おめでとうございます。

関岡 俊二

中村ガバナーをお迎えして。小形さん入会おめでとうございます。

吉沢 洋景

中村ガバナーをお迎えして。小形さん入会おめでとうございます。

橋口 洋三

中村ガバナー、岩佐地区副幹事、山本分区代理、横田分区幹事を迎えて

遠藤 二郎

中村ガバナー、岩佐地区副幹事、山本分区代理、横田分区幹事を迎えて

横倉 譲

25日に娘夫婦に女の児が生まれました。初孫です。

北村 幸彦

このたびの葬儀では大変お世話になりました。

加藤 喜三郎

昨日、新会員セミナーに参加して大変勉強になりました。

◎ロータリー情報委員会 宮本 誠

1月はロータリー理解推進月間です。ロータリー創始者のポールハリス氏が亡くなって、1月27日でちょうど50年になります。彼の遺徳を偲びながら黙禱し、記念すべき日をあらためて考えてみましょう。

◎会報委員会 会報委員 山崎 光一

訂正後の会報(12/25)を配布しました。

◎世界社会奉仕委員会

日中学童友好親善のためのカレンダー40枚を1月27日北京へ送付しました。(数年前モンゴルへ鉛筆を送った意義を生かして今後の友情がより深くなることを願って)

◎職業奉仕委員会(国際大会取りまとめ役) 赤尾 恭雄

第88回国際ロータリー世界大会への申込の締切りは2月5日です。(スコットランド、グラスゴー)。

◎出席報告 出席委員長 橋口 洋三

会員総数 57名

出席者数 49名 (欠席者 8名)

本日出席率 89.47%

1/22 訂正出席率 89.29% (50/56)

欠席者 大松 誠二、猪股 末男、小坂 一郎、森田 舞子、中山 恒武、新海 源四郎、田畑 博、高野 範城

メイクアップ

伊神 稔 1/25 青少年交換委員会
 相澤 希一 1/28 新会員セミナー
 中山 恒武 1/29 世田谷RC
 田畑 博 1/21 立川こぶしRI
 足立潤三郎 2/4 多摩RC
 猪股 末男 2/4 多摩RC

誕生日
 杉田 誠
 森田 舞子
 小城 章員
 宿院 利幸
 須藤 起雄
 吉沢 洋景
 桧垣 昭

◎新入会員入会式 会員増強委員会 足立 潤三郎

新入会員小形勝子氏（東光機器株式会社 常務取締役）
 を会員全員の賛同の上、入会式を行います。

1. 入会証書授与 会長 遠藤 二郎
 バッチ貸与 ガバナー 中村健二郎
2. 会員証他授与 幹事 須藤 起雄
3. 記念写真
4. 「四つのテスト」授与 職業奉仕委員長 赤尾 恭雄
5. 所属委員会とアドバイザーの指名 会長 遠藤 二郎
 親睦活動委員会と青少年委員会に所属し、アドバイザーとして萩生田茂夫氏と田島真由美氏が担当。
6. 推薦の言葉 推薦者 萩生田茂夫
7. 新会員挨拶 小形 勝子
8. 歓迎の言葉 会長 遠藤 二郎
9. プーケの贈呈

猪股 初江
 村上 郁子
 大松 幸代
 飯島富美江
 足立 卷子
 吉沢都貴子
 根本 桂子
 小林ミツ子
 小形 正夫
 桧垣美智子



新入会員の小形勝子さん（右より3番目）



中村健二郎ガバナー卓話

◎誕生日・結婚記念祝い 親睦活動委員会

結婚記念日 横倉 舜三・キヨ子夫妻
 坂田 育男・みき子夫妻
 飯島 裕美・富美江夫妻
 伊藤 英也・保 子夫妻

◎ 卓 話 ガバナー 中村健二郎

今年のテーマは「未来を築け」(Build Future)という大きなテーマで、人類の未来を築けという意味です。本日はこの大きなテーマを踏まえて、ジアイ会長が、国際協議会の際に披露された6つの実践的なもの（6つのガイダンス）を述べたいと思います。

過去を変えるわけにはいきませんが、未来は造ることができます。我々は未来志向で実践して行こう…これがロータリーの精神です。

まず、ポールハリス氏が亡くなられて50回忌を迎えた今年、ロータリーの先達に学べということで、地区大会が特

に、ポールハリス氏に因んだ大会が準備されているということですが。

次に、会員増強を積極的に進めて「未来を築け」と、GRAM、サイパン、ポンペイ（ポナベ）、パオラ等のロータリーが意欲的に奉仕活動を行っています。これらパシフィックベースに今年度、1ヶ所ロータリーの拡大が実現するという喜ばしいニュースもあります。

また、本日、私はこの多摩グリーンロータリークラブが会員増強達成の地区（世界で10地区）に該当するという輝かしい実績を敬意を持って披露するために参りました。

三番目には、職業奉仕の質を高めることによって、未来を築けということです。世界には様々な団体がありますが、「職業奉仕」を掲げているのはロータリークラブだけです。職業を通じて社会に奉仕する…その際、そこに携わる専門職はお互いに尊重されるという精神が活かされています。

一昨年、昨年と日本では住専や薬害などに代表される倫理を逸脱した不祥事が起り、政治不信、行政不信、ひいては国際的信用を失墜させているということも考えます。

ポールハリスがロータリークラブを創設した時代のアメリカも、今と同じような状況にあったのではないかと思います。それは、彼が「人間は信用できない」とよく言っていたことから推測されます。そんな中で、たった4人の人間が集まって「信用できる人と会話しよう」と1905年2月23日、シカゴで会合を開いたのが、ロータリークラブの誕生の一瞬でした。

それから3～4年後に「オブジェクト オブ ロータリー」（目的）として綱領ができ、二番目のクラブがサンフランシスコに、オークランド、カナダ、ロサンゼルス、ニューヨークと次々に増えていったといえます。

1919年には500クラブに、1920年に東京クラブが誕生（855）、1921年には1,000クラブにまで発展しました。

経営者のステイタスというより、お互いに仕事を良くし、社会に奉仕するという精神がロータリーのこれほどまでの拡大を実現させたゆえんであると思います。

1923年、日本でも渋澤榮一氏が同じようなことを言っています。「道徳・経済、合一説」…同時に存在することの意義を述べています。

また、女性の社会進出がめざましい今は、倫理規範のもとで、女性会員の誕生も当然のことであり、女性会員をい

ち早く受け入れた当ロータリークラブは、先見の明があったと賞賛したいと思います。

四番目に、「次世代を築きなさい」。これは国際奉仕の観点から、青少年を健全に育てるということです。長期、短期、生涯、それぞれの交換留学生の派遣（1年間に8,000人）を世界中の地区と地区の間で献身的に行っていて大成功を収めています。

五番目に「平和なまちづくりを築きなさい」。日本にあっては災害に強いまちづくりを築く…と読み直して下さい。

六番目には、ロータリー財団への援助をお願いしたいと思います。WHOとともに我々は地球上から天然痘を追放しました。2005年はロータリークラブ創設100周年を迎える年です。このときまでに、ポリオを追放すべく積極的に努力をしていきたいと思います。

最後に現在、世界には130万人のロータリアン（日本では13万人＝2,300クラブ）がいますが、何時でも、何処でも、自由に話ができて、大きな友情で結ばれ、お互いに友人として誇りに思っていきたいものですね。

（今回の担当 伊藤 英也）